

この説明文書は服用前に必ずお読みください。
また必要なとき読めるように保存しておいてください。

1

漢方製剤

第2類医薬品

大腸の運動と腸内の水分貯留で自然な便通
シオノギ[®]漢方便秘薬S

〈調胃承気湯〉

 シオノギ製薬

◇便秘や便秘にともなう腹部膨満（おなかの張り）などの症状でお悩みの方に、漢方処方「調胃承気湯」が下記の3つの働きにより優れた効果を発揮し、自然な便通を促します。

1. ダイオウ（大黄）が大腸の運動を促します
2. ポウショウ（芒硝）が腸内の水分量を増やします
3. カンゾウ（甘草）がダイオウ（大黄）、ポウショウ（芒硝）の働きを和らげます

◇1日1回の服用で効果を発揮します。



使用上の注意……

してはいけないこと



（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用がおこりやすくなります）

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦または妊娠していると思われる人
(3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）
(4) 胃腸が弱く下痢しやすい人
(5) 高齢者
(6) 次の症状のある人
むくみ
(7) 次の診断を受けた人
高血圧、心臓病、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

関係部位	症状
消化器	はげしい腹痛をともなう下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状がおこることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、 脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

下痢

（裏面につづく）

4. 1週間位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

……効能・効果……

体力中等度なもの次の諸症：便秘、便秘にともなう頭重・のぼせ・湿疹・皮膚炎・ふきでもの（にきび）・食欲不振（食欲減退）・腹部膨満、腸内異常醗酵・痔などの症状の緩和

……用法・用量……

次の量を食前または食間に水またはぬるま湯でおのみください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15才以上）	4錠	1回
15才未満	服用させないこと	

●定められた用法・用量を厳守してください。

……成分・分量……

シオノギ漢方便秘薬Sは、褐色のフィルムコーティング錠で、4錠（成人1日量）中に次の成分を含有しています。

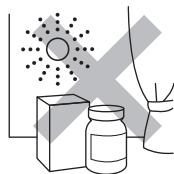
成分	含量（4錠中）
調胃承気湯エキス （ダイオウ（大黄）……………2.5g カンゾウ（甘草）……………1g 乾燥硫酸ナトリウム……………0.5g [パウショウ（芒硝）として1gに相当] より得たエキス）	1010mg

添加物として クロスカルメロースナトリウム、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、タルク、結晶セルロース、ヒプロメロース、マクロゴール6000、カルナウバロウを含有しています。

●生薬を用いた製品なので、製品により錠剤の色調が多少異なることがありますが、効果には変わりありません。

……保管および取扱い上の注意……

- 直射日光の当たらない湿気の少ない、涼しい所に密栓して保管してください。（ピンのフタの閉め方が不十分な場合、湿気などの影響で薬が変質することがありますので、服用のつどフタをよく閉めてください）
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり、品質が変化します）
- ピンの中の詰め物は、輸送中の錠剤の破損を防ぐためのものですから、ご使用のはじめに必ず捨ててください。
- 水分が錠剤に付くと、表面のコーティングの一部が溶けることがありますので、誤って水滴をおとしたり、ぬれた手で触れないようにしてください。
- 箱の「開封年月日」記入欄に、ピンを開封した日付を記入してください。
- 一度開封した後は、品質保持の点から、6ヵ月以内にご使用ください。
- 使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



……お問い合わせ先……

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記までお願いいたします。
 塩野義製薬株式会社「医薬情報センター」
 電話：大阪 06-6209-6948、東京 03-3406-8450
 受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）

「副作用被害救済制度」について
 （独）医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/>
 電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

®登録商標

販売元

塩野義製薬株式会社
 大阪府中央区道修町3丁目1番8号

製造販売元

大峰堂薬品工業株式会社
 奈良県大和高田市根成柿574